

授業科目名		対象学科・専攻	年次	期別
体育科指導法 Teaching Methods of Physical Education		児童教育学科 初等教育学専攻	2年次	前期 後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員	担当形態
演習	2	必修	手島 史子	単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

〇コアカリキュラム：各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

全体目標：当該教科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

(1) 当該教科の目標及び内容

一般目標：学習指導要領に示された当該教科の目標や内容を理解する。

到達目標：1) 学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。
2) 個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。
3) 当該教科の学習評価の考え方を理解している。
4) 当該教科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。

(2) 当該教科の指導方法と授業設計

一般目標：基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

到達目標：1) 子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。
2) 当該教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し授業設計に活用することができる。
3) 学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。
4) 模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。

【全体目標及び概要】	
今日の社会及び将来の社会において求められている「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する」ために必要な資質・能力を、学習指導要領に示された体育教科の学習内容を中心に理解する。また、それを子どもたちが身につけるための学習指導理論を実践的に学修し、実践できる基礎的な資質・能力を理解する。	
【一般目標及び到達目標】	コア目標対応
一般目標：学習指導要領に示された体育教科の目標や内容を、根拠を持って理解し、その内容が持つ本質を子どもたちがつかみ取れるよう授業計画を立てることができる。	
到達目標： (1) 学習指導要領における体育教科の目標・内容等を今日及び将来の社会的状況を踏まえて理解している。	(1)-1)
1) 今日及び将来の社会とスポーツの価値について理解している。	
2) 学習指導要領の目標について理解している。	(1)-1)、4)
3) 学習指導要領の内容について理解している。	(1)-1)、4)
(2) 体育教科の学習内容における指導上の留意点及び学習評価の在り方を理解している。	(1)-2)
1) 各学習内容の指導上の留意点を理解している。	
2) 体育教科の評価の在り方について理解している。	(1)-3)
(3) 「生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現」のために必要な資質・能力を理解している。	(2)-1)
1) スポーツそれ自体の面白さに基づいた取り組みの必要性を理解している。	
2) スポーツを行うための必要条件について理解している。	(2)-1)

3) 器械運動のマット運動それ自体の面白さに基づいた授業計画作成の在り方を理解している。		(2)-2)	
4) 陸上運動の短距離走それ自体の面白さに基づいた授業計画作成の在り方を理解している。		(2)-2)	
(4)「目的・目標—内容—教材—方法—評価の統一」を意識した授業計画案をつくらることができる。 1)「目的・目標—内容—教材—方法—評価の統一」の意味を理解し、授業計画案を作成できる。		(2)-3)	
2) 自分で作成した授業計画を1) に基づき検討することができる。		(2)-4)	
回数	体育科指導法 授業内容【前期】 【手島史子】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応項目
1	学習指導要領「体育教科」の読み方	(1) - 2)・3)	(1)-1)、4)
2	学習指導要領「体育教科」の目標と現代社会について	(1) - 1)・2)	(1)-1)、4)
3	学習指導要領「体育教科」の学年別にみる内容について	(1) - 3)	(1)-1)、4)
4	学習指導要領「体育教科」の内容と指導上の留意点	(1) - 3) (2) - 1)	(1)-2)
5	「豊かなスポーツライフ」をキーワードに「体育教科の目標・内容」について意見交換する	(1) - 1)・ 2)・3) (3) - 1)	(1)-1)、4) (2)-1)
6	自分達が受けてきた「体育教科」を振り返る（意見交換及び報告）	(1) - 1)・ 2)・3)	(1)-1)、3)、4)
7	体育教科の授業計画をつくる時の基礎知識	(3) - 1) (4) - 1)	(2)-1)、3)
8	スポーツそれ自体の面白さとスポーツを行う必要条件について	(3) - 1)・2)	(2)-1)
9	現代社会におけるスポーツの価値について	(1) - 1)	(1)-1)
10	スポーツそれ自体の面白さを器械運動のマット運動で考える	(3) - 1)・3)	(2)-1)、2)
11	授業計画作成上の基礎知識（器械運動のマット運動を例にして）	(2) - 1) (3) - 1)・3) (4) - 1)	(1)-2) (2)-1)、2)、3)
12	器械運動のマット運動それ自体の面白さとは何か検討する（意見交換及び報告）	(3) - 1)・3) (2) - 1)	(1)-2) (2)-1)、2)
13	器械運動のマット運動それ自体の面白さをベースにした授業づくり（グループでの活動）（ICTの活用）	(2) - 1) (3) - 1)・3) (4) - 1)	(1)-2) (2)-1)、2)、3)
14	器械運動のマット運動それ自体の面白さをベースにした授業づくり（報告）（ICTの活用）	(3) - 1)・3) (4) - 1)	(2)-1)、2)、3)
15	器械運動のマット運動それ自体の面白さをベースにした授業の報告に基づく検討	(4) - 1)・2)	(2)-4)
定期試験	実施しない		

回数	体育科指導法 授業内容【後期】 【手島史子】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応項目
16	「豊かなスポーツライフの実現」を視点とした小学校での体育教科の授業の検討（意見交換）	(1) - 1)・ 2)・3)	(1)-1)、4)
17	スポーツを行うための必要条件について	(3) - 2)	(2)-1)
18	体育教科の評価と授業の在り方	(2) - 2)	(1)-3)

回数	体育科指導法 授業内容【後期】 【手島史子】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応項目
19	評価の視点から見る体育教科の授業づくり	(2) - 2) (4) - 1)	(1)-3)、4) (2)-3)
20	学習指導要領体育教科における陸上運動の短距離走の目標及び内容について	(1) - 2)・3)	(1)-1)、4)
21	陸上競技の短距離走それ自体の面白さを考える	(3) - 1)・4)	(2)-1)
22	陸上競技の短距離走を科学的に考察するー走りを可視化するー	(1) - 2)・3)	(1)-1) 、 4) 、 (2)-2)
23	陸上競技の短距離走の可視化することを意識した授業計画をつくる (情報機器の使用の検討)	(3) - 1) (3) - 4)	(2)-1)、2)
24	グループに分かれ短距離走における「速く走る」を意識した内容及び方法を検討する	(1) - 3) (3) - 4)	(1)-1)、4) (2)-2)
25	24回目の授業で検討した内容・方法を、グループで実際に確かめ修正する(グループ1と2の模擬授業)	(1) - 3) (3) - 4) (4) - 2)	(1)-1)、4) (2)-2)、4)
26	24回目の授業で検討した内容・方法を、グループで実際に確かめ修正する(グループ3と4の模擬授業)	(1) - 3) (3) - 4) (4) - 2)	(1)-1)、4) (2)-2)、4)
27	25・26回目の授業で修正した内容・方法を報告し意見交換する	(1) - 3) (3) - 4) (4) - 2)	(1)-1)、4) (2)-2)、4)
28	意見交換で得た知見をもとにグループで報告した内容・方法を修正する	(1) - 3) (3) - 4) (4) - 2)	(1)-1)、4) (2)-2)、4)
29	授業計画作成における「目的・目標ー内容ー教材ー方法ー評価の統一」という視点の重要性について考える	(1) - 2)・3) (2) - 1)・2) (4) - 1)	(1)-1)、2)、 3)、4) (2)-3)
30	「生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現」のために必要な資質・能力について	(1) - 1)・ 2)・3) (3) - 1)・2)	(1)-1)、4) (2)-1)
定期試験	実施しない		
成績評価方法	授業時の発表(関心・意欲・態度・理解)20%、レポート(思考力・判断力)30%、授業計画案(思考力・判断力・構成力)50%		
テキストおよび参考文献	『小学校指導要領(平成29年告示)解説 体育編(平成29年7月 文部科学省)』 授業中に適時資料を配付する		
メッセージなど	授業を受けながら、自分の頭で考えるということが当たり前のようにできることを意識し進めていきます。自分の考えを表現しながらも、他者の意見や考えについても熟考できるようになれるよう、みんなで切磋琢磨しましょう。		

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1 今日及び将来の社会とスポーツの価値について理解している。	スポーツの価値について今日の状況を踏まえて考えを述べられる。	スポーツの価値について資料などを参考に考えを述べられる。	自分なりの経験的な考えを述べることができない。	スポーツの価値について述べることができない。	授業時の発表	5%
(1)-2 学習指導要領の目標について理解している。	自分の言葉で説明できるほど理解している。	大きな間違いがなく、基本を理解している。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を理解している。	理解できていない。	授業時の発表	10%
(1)-3 学習指導要領の内容について理解している。	自分の言葉で説明できるほど理解している。	大きな間違いがなく、基本を理解している。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を理解している。	理解できていない。	授業時の発表	5%
(2)-1 各学習内容の指導上の留意点を理解している。	自分の言葉で説明できるほど理解している。	大きな間違いがなく、基本を理解している。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を理解している。	理解できていない。	指導計画案	10%
(2)-2 体育教科の評価の在り方について理解している。	自分の言葉で説明できるほど理解している。	大きな間違いがなく、基本を理解している。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を理解している。	理解できていない。	レポート	15%
(3)-1 スポーツそれ自体の面白さに基づいた取り組みの必要性を理解している。	自分の言葉で説明できるほど理解している。	大きな間違いがなく、基本を理解している。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を理解している。	理解できていない。	レポート	15%
(3)-2 スポーツを行うための必要条件について理解している。	自分の言葉で説明できるほど理解している。	大きな間違いがなく、基本を理解している。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を理解している。	理解できていない。	授業指導案	10%
(3)-3 器械運動のマット運動それ自体の面白さに基づいた授業計画作成の在り方を理解している。	マット運動それ自体の面白さを押さえた授業計画ができる。	マット運動の面白さを自分の言葉で説明できるほど理解している。	マット運動の面白さの知識を知程度で理解している。	理解できていない。	授業指導案	10%
(3)-4 陸上運動の短距離走それ自体の面白さに基づいた授業計画作成の在り方を理解している。	短距離走それ自体の面白さを押さえた授業計画ができる。	短距離走の面白さを自分の言葉で説明できるほど理解している。	短距離走の面白さの知識を知程度で理解している。	理解できていない。	授業計画案	10%
(4)-1 「目的・目標—内容—教材—方法—評価の統一」の意味を理解し、授業計画案を作成できる。	ほぼ完璧に理解している。	大きな間違いがなく、基本を理解している。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を理解している。	理解できていない。	授業計画案	10%